

### 本町出身招待選手の声



太田黒 卓選手(上武大4年=植木)

ハーフ男子 39位  
1時間06分46秒

1時間4~5分台を目標に、最初から最後まで、自分のペースで行こうと思いましたが、入りのペースが速く、練習不足もあって10キロの折り返しからペースが落ちました。沿道からは「太田黒頑張れ」「箱根駅伝見たよ」などと住民の皆さんや同級生から声をかけてもらい、とても力になりました。



上田 結也選手(創価大3年=野中田1)

※左から2番目

ハーフ男子

前半はいい位置でレースを進めることができましたが、折り返してから足を痛めてしまいました。沿道からたくさん声援が聞こえて力になりました。来年の箱根駅伝を見据え、(2月17日に行われる)熊日30キロロードレースでは、初参加となりますが、どうかトップ選手に食らいつき、自分の力を試したいと思います。



町民の声援を受けながら力走する太田黒選手(右)と上田選手(左)

した太田黒選手は39位でフィニッシュ。上田選手は足の故障により、残り約1キロで無念のリタイヤとなりました。  
ハーフ女子では、松田杏奈選手(京セラ)が1時間13分10秒で優勝。上位3人の合計タイムで競われた団体の部では、ハーフ男子でトヨタ自動車九州が1位、2位は市民ランナー選抜、同女子は日本体育大学が1位となりました。  
当日は雨が降る中、沿道には多くの観客が駆けつけて選手を応援しました。閉会式では各種目の表彰が行われ、鶴

田正巳町長が「素晴らしい大会になった。冷たい雨の中、熱い走り地域の人と一緒に盛り上がる事ができた。来年も皆さんの雄姿をぜひ見せていただきたい」と講評。中学男子の部で好成績を収めた落合選手は「16分を切ることで、先頭の相良中の選手にできるだけついていくことを目標にした。ラスト1キロでスパートをかけて3位の選手をかわした。後半疲労が足にきてしまい、目標タイムを切れなかったことが悔しい」と話していました。

各部門で本町のランナーたちが町内を走り抜けた(左:山崎隼汰選手)



# 第7回公認奥球磨ロードレース 太田黒、上田 両選手が凱旋

## 中学男子2位に落合選手

第7回公認奥球磨ロードレース大会は1月20日、水上中学校をスタート、水上村役場をフィニッシュとするコースで開かれ、ハーフマ

ラソン一般男女や高校生男子10キロ、女子フリー5キロ、中学男女5キロの6部門に446人が出場。太田黒卓選手(上武大4年=植木)や上田結也選手(創価大3年=野中田1)の招待選手をはじめ、本町出身の選手も各部門で力走。中学男子では、落合諒選手(湯前中2年=中猪)が16分18秒で2位となりました。

大会は湯前町、多良木町、水上村、熊本県陸上競技協会が主催。午前9時20分に中学男子がスタートし、女子フリー・中学女子、ハーフ、高校男子の順で競技が行われました。

ハーフ男子には6年連続での出場となる川内優輝選手(市民ランナー選抜)をはじめ、実業団や大学生などの招待選手27人を含む93人が出場。レースは序盤から3人の外国人選手が先頭を争う展

開に。昨年優勝したカレミ・ズク選手(トヨタ自動車九州)が1時間01分21秒のタイムでフィニッシュし、自身の大会記録を27秒更新しました。二人の外国人選手に続き、

第2回大会で優勝した押川

裕貴選手(トヨタ自動車九州)が1時間03分13秒で日本人トップとなる3位、5秒遅れて、多良木町出身の西智也選手(小森コーポレーション)が4位につきました。  
3年連続で箱根駅伝に出場



2年生ながら、中学男子5キロで2位の好成績を収めた落合選手